



鈴木 朝英 先生揮毫

事務局 〒069-0854
江別市大麻中町 26-19
カルム大麻 406
佐々木孝一 気付
011-387-1239

発行責任者
会長 竹 田 正 直
北海道大学教育学部同窓会

学部近況



教育学研究院長・
教育学部部長

横 井 敏 郎

異常気象が続きますが、みなさまにはお元気でお過ごしのことと存じます。この一年間の学部や大学の近況をお知らせします。

猛威を振るった新型コロナウイルスウィルス感染症の流行も下火となり、今年三月の卒業・修了式は以前と同じように多くの学生院生が出席して行われました(次頁写真)。今回の卒業修了生もコロナにぶつかった学年ですが、たいへんな中を努力し、多くの学生院生が卒業修了できたことを心より祝いたいと思います。

同感染症は今年五月に五類感染症に指定替えされ、これとともに本学の授業や大学運営も全面的に平常に復帰することとなりました。ただし、授業では教育情報

システム(ELMS)でプリントを配信したり、レポートを受け取ることが普通になり、全学会議の大半がオンライン開催になるなど、以前と変わったこともあります。私の講義でプリントを受け取らない学生がいたので聞くと、パソコンで見られるので紙のプリントはいらないということでした。面談するときもパソコンやタブレットを持ってきてメモを書き留める学生が増えていきます。

二〇一八年九月に胆振東部地震が発生したことは記憶に新しいことと思います。この時、本学札幌キャンパスでは大きな被害は生じなかったのですが、翌年五月に本研究院の子ども発達臨床研究センターの建物外壁の相当面積のタイルが落下するという事故が発生しました。四五年前に建築されたこの建物は幼稚園を設置して観察調査を行うなど、心理系の研究や実験の場となり、また近年は臨床心理相談室を置いて相談を行ったり、障がいや子ども等の共同研究や支援の場として重要な役割を果たしてきました。しかし、さす

がに老朽化が激しく、そこに地震が来て上記の事態となったと診断されています。外壁は応急手当をしたものの、またタイルが落下しないとも限らず、子どもや保護者、支援者など来訪者の多い建物が安全に使用できないようでは困ります。そこで、昨年大学内で安全対策の改修を要望し、文部科学省への予算申請に乗せてもらうことができました。外壁の改修だけでなく、研究と教育の充実のつながるような内部の機能強化も図ることを目指しています。結果は今秋に分かります。

昨年二月にロシア・ウクライナ戦争が勃発しました。一部の部局は国際交流先をロシアから他国に移すなど、教育研究にも影響が及んでいます。加えてこの戦争は資源エネルギー価格の高騰を招き、財政面でも大学に大きな影響を与えています。本学は学生院生と教職員を合わせて二万二千人に上り、光熱費の使用量も膨大です。昨年度は全学で光熱費が一〇億円以上も増加しました。文科省から半額程度の補填は得ましたが、各部局は(次頁へ)



木立に囲まれた教育学部の建物

令和五年度

北海道大学教育学部同窓会総会

日時：2023(令和五)年9月30日(土)
16:30~

会場：人文・社会科学総合教育研究棟
(軍艦講堂)

同封のはがきで連絡して下さい

(当日参加も可ですが、中止等の場合でも連絡できません)

※左記のメールアドレスを活用できます

sa-kau10826@outlook.jp

対面での開催を予定していますが、感染症の拡大などの状況によっては書面審査に変更される場合があります。



対面参加の学生に直接手渡す(学位記授与式)

(〇) 予算のやりくりに追われました。本研究院では今年度、光熱費予算に大きな額を積んでいます。

最後に教員の動向ですが、二〇二一年度まで四年間、研究院長を務められた宮崎隆志教授が定年により二〇二二年度末をもって退職されました。宮崎先生は同窓会副会長に就任されましたので、より強力な連携関係ができることと思っております。

同窓会のみなさまには入學式や卒業・修了式での励ましのメッセージやご寄付、学生への貢献賞の授与など、多大なご協力をいただいております。本研究院では、従来に増して教育の充実と研究の発展に努めていく所存です。卒業・修了生のみなさまにはそれぞれ充実した生活をお過ごしになられるよう祈念しますとともに引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。



同窓会から卓花が贈られる

財政健全化への感謝

学部創立七〇周年記念やコロナの学生支援金募集など、同窓会の皆様には、多大なご支援をいただきました。他方で、昨年度の会報で報告しましたように同窓会の一般財政が危機となりました。昨年度は、そのことを率直に訴えましたところ、皆様から会費の納入と共に、多額のご寄付をいただき、お陰様で、後述の会計報告にみるように同窓会一般財政が一定程度、健全化いたしました。誠にありがとうございます。



同窓会長・年次報告

竹田 正直

ございます。

卒業・修了式

二〇二二年度の学部・学院の学位記授与式が二〇二三年三月二三日(木)に、文系共同講義棟で行われました。学部卒業生は五八名、修士修了生は三六名、博士修了生は一〇名でした。横井敏郎教育学院長・学部長の祝辞が行われました。同窓会長の祝辞は事前に印刷され、全員に配布されました。コロナの落ち着きもあり、学位式は非常に華やかに行われました。

教育貢献賞の授与

学位記授与式の直後に、二〇二二年度の教育貢献賞を近藤雄大さん(修士二年)へ、竹田同窓会長から副賞とともに授与されました。近藤さんは、「積雪寒冷地域における園庭空間モデルの提案」の研究代表として、日本教育公務員弘済会奨励金と本学URASTエーション「地方学の実践支援プログラム 二〇二二」に採用され、遊具無しでも遊べる積雪時の園庭を提案し、地域と児童の発達に大きく貢献しました。教育貢献賞の

選考にあたっては、社会連携委員会委員長の柚木孝敬教授に大変お世話になりました。

同窓会の若返りと活性化

これまで長きにわたり同窓会長を務めさせていただきましたが、健康上の問題もあり、今期をもって同窓会長を退任し、より若い方々に次の同窓会を活性化していただきたいと思います。

竹田会長(右)
横井学部長(左)

す。これまで多くの皆様に大変お世話になりました。誠にありがとうございます。教育学部同窓会の益々の発展を祈念申し上げます。

北海道大学 ホームカミングデー 2023

主催.. 北海道大学
共催.. 北海道大学校友会エルム
日時.. 2023(令和五)年9月30日(土)

詳細はホームページで確認してください

ホームページ

<https://www.hokudai.ac.jp/home2023/>

文系四学部共同開催 公開シンポジウム

14:00~16:00

会場 人文・社会科学総合教育研究棟
直木賞作家・桜木志乃さんが講演します。

トピックス・同窓会&キャンパス



挨拶する横井学部長

総会、対面で実施

二〇二二年度の教育学部同窓会総会は、九月二四日午後四時三〇分から、文系共同講義棟(軍艦講堂)一番教室で行われました。一六名の会員が参加し、学部・学院から横井敏郎学部長(学院長)と柚木孝敬教授(社会連携委員長)が来賓として臨席されました。

竹田正直会長の参加者への挨拶につづいて、来賓の横井学部長からご挨拶をいただきました。

議事に先立って、この間に物故された会員に黙祷を捧げました。

つづいて議長に宮崎隆志(第三〇期)さんを選出し、議案を審議しました。

二〇二二年(令和三年)

度の会務報告、会計報告、監査報告が原案通り承認されました。出席者から会費の納入が会員の一五%ほどであることへの対策と居所不明者の把握について質問が出され、活発な議論がたたかわされました。同窓会のあり方について、会員有志の討議についても提案がありました。

次に二〇二二年(令和四年)度の事業計画(案)、予算(案)、会則の改正(案)が審議され、いずれも原案承認となりました。ただ事業の円滑な遂行のためには財政的な裏付けが不可欠で、現況はその状況に達していないことも出席者の共通の認識となりました。最後に役員改選について提案があり、竹田会長以下事務局提案のとおり選出されました。

教育学部・教育学院学位記授与式

二〇二二年度の学位記授与式は、二〇二三年三月二三日、午後一時三〇分から学部学生、午後二時三〇分



柚木教授からご説明

から学院の院生を対象に行われました。学士課程五八名、修士課程三六名、博士課程一〇名、合計一〇四名でした。昨年と同様、感染症への配慮もあって、対面とオンラインによる参加となりました。ただ、昨年に比べると対面での出席者が増え、晴れ着姿の参加者が多く見られました。

本会から代表して、竹田正直会長が出席しました。同総会から式のために卓上花を用意しました。

学位記を授与された各位は同窓会へ入会となり、この点について会から文書を配布しましたが、柚木孝敬教授(社会連携委員長)から詳細な説明がありました。

キャンパス北に伸びる昭和の時代、北大キャン



金葉祭の通り抜け

パスの最北に位置していたのが、獣医学部と低温研究所でした。それが今では北二四条通りまで研究施設が配置されようとしています。北二二条の斜め通りにもゲートが設けられました。斜め通りは旧札幌飛行場(門柱のみ残っています)に通じていた道で、学生のための下宿やアパートが今でも見られます。クラーク会館付近から北のキャンパスを循環するバスが運行されています。

金葉祭

北十三条通りにある銀杏並木は毎年晩秋になると金色に輝きます。学内では十月末「北大金葉祭」のイベントが開かれています。工学部前までの通り抜け(逆走も可)に多くの市民が参加しました。秋が深まると

銀杏並木の金色(黄色)のほかイタヤカエデなども色付きます。中央食堂の向かいにはコンビニエンスストアがあり、近年の学内事情には著しい変化があります。

教育貢献賞の授与

学位記授与式の終了後、教育貢献賞授与式が行われました。本年度の受賞者は近藤雄大さん(修士二年)となりました。竹田会長から賞状と副賞が手渡されました。(詳細は会長の年次報告のとおり)



近藤さんに貢献賞を授与

学年幹事

毎年卒業生の中から委嘱する学年幹事について、本年度は、菅原潤さんと清水純奈さんが選出されました。お二人には事務局から委嘱状を手渡しました。



文系共同講義棟で行われた学位授与式



学年幹事のおふたりと竹田会長

にもこの旨伝えました。高村名誉教授が特別会員に同窓会の会則には現旧教官を特別会員として迎える規定があります。これまでの規定の活用がありませんでした。竹田会長の呼びかけで高村泰雄名誉教授が同窓会に加わることにしました。

会員短信(二〇二二年九月)

ここから会員各位より寄せられた近況を掲載します。
昨年九月からの到着順になっています。

「氏名」「卒業年次」「現住の都市名等」と記入のコメントの順です。

文字、数字、送り仮名、改行など原文のとおり
「掲載不要」等の添え書きのあった分については掲載していません。

○亀貝 一義(一九六〇年
卒) 札幌市西区

一九六〇年四月から二〇二二年三月まで「教育一筋六〇年」を完うすることができました。「会誌恵迪」第二十二号に手記があります。

○多米 豊(一九五四年
卒) 札幌市西区

91才になりました。4年5月末で、小児科の診療所を閉じました。今の所、何とか過ごしています。

○鈴木 泰(一九七一年
卒) 北海道北広島市

心身の健康に留意して日々をすごしています

○竹田 正直(一九五九年
卒) 札幌市北区

○田尾 直之(一九六一年
卒) 札幌市厚別区
(総会は)不参加です。
リュウマチのほか体力無しのため。



台座に印象的な浮彫



木立ちの中のモデルバーン

佐々木孝一幹事長代行が、とても努力して第40号を発行してくれ感謝です。皆さんからの便りを読むのいつも楽しみにしています。

○伏木田 政義(一九六九年
卒) 北海道函館市

同窓会だより、40号で竹田先生の昨年の「危機を脱し」たとの報に驚き、ホッとしました。私も他人に、「お大事に」と言える様ではありませんが、ご健勝を!!

○八幡 一志(一九五八年
卒) 北海道小樽市

友人は多数旅びだち、わずかに生き残っています。「要介護Ⅱ」に認定され、コロナ禍の外出もママになります。

○高山 幸一(一九七四年
卒) 札幌市西区

古稀を過ぎても、幸い元気です。竹田先生と佐々木

君の投稿を興味深く読ませてもらいました。

ご健勝を祈ります。

○藤巻 哲夫(一九五三年
卒) 北海道江別市

藤巻哲夫91歳は令和4年5月死去いたしました。生前お世話になりました。同住所家族より

○小島 忍(一九五六年
卒) 北海道江別市

本年度80代が終わります。人間関係も職場や学校で創ったものから、日常生活を中心とするものに変化しました。「老の眞影」が之です。

○小林 勇樹(二〇〇七年
修了課程修了) 長野県中野市

市民団体「札幌市子ども権利条例市民会議」は今も健在です。

○佐藤 修二(一九七九年
卒) 札幌市北区

コロナ禍を人類が克服して皆が安心して集まること出来る日が来ることを待ちながら、日々仕事を続けています。たまに散歩で教育学部の前を歩きます。

○熊谷 正志(一九八五年
卒) 札幌市中央区

たまにメインストリートでランニングしています。とても爽快です。

○井上 蓉子(一九六二年
卒) 北海道岩見沢市

フリーになって、三年目に入るところ
精神医療界に「パラダイムシフト」がおきるかも・・・、引き続きの学習で多忙な日々を送っています。

○須田 力(一九六六年

卒) 札幌市東区

同窓会だより第四〇号、ありがとうございます。

自分は終戦二年前に満州で生まれましたが、ソ連参戦、終戦、避難生活、帰国までの最も重要な時期の記憶が皆無です。両親の語り伝え、書き残したこと、周囲の人たちのさまざまな証言、記録を調べながら、自分がもし開拓団で生まれていたらどのような運命をたどったのか、八〇年前にタイムスリップした自分を探る、ロシアのウクライナ侵攻にかかわって、そんな暇つぶしの日々です。



旧理学部の博物館(北大の歴史と研究を展示)



ホームカミングデー 2022

○橘内 哲也(一九五五年卒) 札幌市厚別区

40号会員短信に同期の名前が見当たらない、その上同郷(夕張)同期の織田光之兄の訃報に接する。寂しのかぎりです。

手を折って／昔の友を数えれば／なき人多く／なりけりかな 良寛

○山本 哲二(一九七六年卒) 札幌市豊平区

転居しました

○中出 昭彦(一九八六年卒) 札幌市厚別区

今月(9月)の末に還暦

を迎えます。来春の定年後も、自分に託していただける立場でもう少し頑張つて行きたいと思っています。引き続きよろしくお願いいたします。

○犬童(佐藤)いづみ(一九八〇年卒) 北海道函館市

いつも同窓会だよりをご送付下さり、ありがとうございます。六十六才すぎても、司会業、講師業を続けていられるのは有り難いことと思っています。

「お仕事帰りの朗読サブリ」と題して、隔月で朗読

会を行なっています。気軽に立ち寄って、リラックスして頂くような心をこめて読んでいます。

○市澤 豊(二〇〇四年博士修了) 札幌市南区

同窓会だよりの会員短信がたのしみです。

子ども発達臨床研究センターの諸先生方のご協力で「北大幼児園の成立」について寄稿しました。当時の在園児だった方々からお便りをいただきました。うれしいことです。

○大居 健二(一九五六年卒) 札幌市厚別区

米寿で運転免許証を更新しました。

運転実技、認知症検査は問題なくパスしましたが、眼鏡使用が義務付けられました。

法令順守、安全運転を肝に銘じてハンドルを握っています。

○奥野 彰(一九七五年卒) 札幌市北区

今号、読み応えがありました。お疲れ様でした。とりわけ「童研発足期」論考は砂澤先生のお名前も出て

いて、興味深く読ませていただきました。青春のエネルギーと可能性を感じます。「続編・七〇年代／解散」の掲載を希望します。

○鎌田 雅人(一九八九年卒) 秋田県秋田市

現在、秋田県労働委員会事務局に勤務しており、来年3月末に定年退職の予定です。

○牛島 康明(一九七四年卒) 千葉市美浜区

今年3月末で退職し、フリーになりました。

福岡県人会の会報編集や趣味の登山で毎日元気に過ごしています。

○堺 勝信(一九九八年卒) 東京都三鷹市

毎日公園を散歩して、花鳥風月を愛でています。

○小野塚 恒男(一九七八年卒) 新潟市中央区

いつも、「だより」をお送りいただきまして、誠にありがとうございます。今号はキャンパスの写真が多く、うれしく、楽しく拝読しました。

北大キャンパスは最高で



教育学部と白樺並木

す。唯一無二の場所、存在です。

○鈴木 里津子(一九七八年卒) 札幌市中央区

懐かしい先生方(多米先生、忍先生、竹田先生等)の近況に勇気をいただいています。若い人達への引継、サポートで何ができるか考え中。

○岡本 繁(一九九六年修士修了) 札幌市東区

大先輩、亀貝先生が創設された高校、札幌自由が丘学園で学ぶ意欲にあふれた子供たちに社会を教えています。充実した日々です。

○高橋 道裕(一九八四年卒) 札幌市中央区

事務局、お疲れ様です。区内で転居いたしました。

○逸見 勝亮(一九六六年卒) 札幌市中央区

和太鼓の音源が明らかにになりました。童研の歴史はおもしろく読みました。眠れぬ夜に斉藤秋男『大正少年懐古』を読んでいます。

○渡部 秀清(一九七二年卒) 東京都杉並区

教育基本法を改悪し、「愛国心」を盛り込んだ安倍元首相が銃撃事件で亡くなりました。三浦梅園の『贅語』の拙い現代語訳に取り組んでいます。

○森 範行(一九七二年卒) 札幌市東区

札幌市の小学校2校のスクールカウンセラーをしています。年内に後期高齢者に突入するので、今年度限りで引退します。現在74才です。



金色に染まった北十三条通

卒)さいたま市北区

法、経、教育、異なる学部を卒業した5人が大学時代の交友を続けようと、東京で、ミニ北大会をつくり、年に2回づつ、開催し今も続けています。

○坂本 仁彦(一九七〇年卒) 東京都世田谷区

今夏は酷暑の下、朝夕の涼しい間に健康維持の為に散歩は欠かしませんでした。日中は読書三昧。図書館を大いに活用致しました。

週3日の学童保育勤務も、6年半となりました。コロナ禍の夏休みも校庭で2回水遊びを実施、弾ける児童の笑顔に大いに「いやさ」れました。

制限された活動の下、子供らしさが発揮された一場面でした。

○長尾 肇(一九六五年卒) 札幌市北区

八十才を過ぎ、体力のところがを感じる毎日です。ウクライナの平和を願っております。

○佐々木 秀之(一九八一年卒) 東京都稲城市

定年退職後経営アドバイザー

ザーとして時々社会と接して活力を養ってます。

○名越 晴男(二〇一四年修士修了) 北海道苫小牧市

同窓会事務局ご苦労様です。

「同窓会だより」14ページに「年会費納入のお願い」の中で、払込取扱票の手数料は負担なしと記載されておりますが、二〇二二年一月十七日より110円の負担が必要となっております。

老婆心ながらお伝えします。

○吉田 誠吾(一九六四年卒) 北海道北広島市

「同窓会だより」に計報、返信(住所、氏名のみ)、原稿募集の欄が設けられ親しみが増しました。

小生、道職員を定年退職、余市で農業二十年、第三の人生、今は地域のギタークラブに入り最高齢でギターライフを楽しんでいます。

北大チルコロマンドリニスティコッアウロラで、の入部5年を思い出しています。

○吉川 和幸(二〇二一年博士修了) 神奈川県横浜須賀

市

毎日海を見ながら仕事に励んでいます。

感染症が収束し、時間ができたら、道内をゆっくり旅行したいです。

○浅田 正典(一九七九年卒) 大阪府東大阪市

妻の初美(1980年卒)は、22年5月にできた初孫の動画を見るのを日課にしています。私はあいかわらず野菜と果物の育成と「研究」に励んでいます。

竹田先生、逸見先生、所さんの記事になつかしかったり励まされています。

○杉山 昌夫(一九八三年卒) さいたま市桜区

皆様のコメント、毎年変化があり、楽しく読まさせていただきます。次回の短信発行時は、私もリタイアか？

○小松 秀樹(一九七九年卒) 川崎市宮前区

竹田先生、逸見先生、お元気であらうと思います。何年たっても、北大のキャンパス、教育史のゼミ室、あの頃の諸先輩方、仲間たちのことを昨日のことのよう

うに思い出します。

○阿部 剛康(一九九一年卒) 北海道釧路市

通信制高校に通う生徒が増えてきました。

○大友 弥生(二〇一三年卒) 札幌市東区

お世話様です。住所の変更をお願い致します。

○吉田 敏雄(一九五五年卒) 札幌市北区

週3回の透析(火・木・土の午後)のため、総会を欠席します。

○川守田 京子(一九六一年卒) 札幌市中央区

「札幌おやこ面会交流の会」というボランティア活動に細々と参加しながら、元気に過ごしております。

○徳勢 正昭(一九六五年卒) 横浜市港南区

まもなく、故安倍氏をネタに、私利私欲のための国葬。だったら、これで悪い時代を葬って欲しいね。

1989年が昭和天皇の崩御、戦後日本の繁栄の終焉。それから「一世代」(三〇年)終了の今日・・・日本



学内にある幼児教育施設

には課題がいっぱい。

東南・東アジア諸国との信頼回復、中央集権的から地方分権的な電力へ、原発・化石燃料ベースから太陽光・風力をベースへ。食料自給率の向上！「北海道」の出番はこれからです。

その北海道の産業発展のためにも、J-R函館本線(貨物線)はせめて今後の連絡網として残して欲しいな。また北海道は、日本の再生エネルギー基地として、今後重要。

北大はいろんな人材を育てて欲しいな。そうそう、北海道がワイン王国へ！期待しています。



クラーク会館前の紅葉

○細田 孝哉(一九八五年卒) 北海道北広島市

多くの方々のご支援で
まあい学びのさと小学校
を開校します。

これから応援ください。

○加藤 依子(二〇一六年卒) 札幌市中央区

住所変更お願い致します。

○高縁 恵美子(一九八九年卒) 北海道石狩市

コロナ茶番対策の情報収集し(ツイッター、講演等)、ノー・ワク、ノー・マ、免疫力アップ(自然・農・手作り、伝統発酵食等)を心掛けています(諸

外国では既にコロナ終了の模様)。接種者には解毒(血栓対策等)も必要です

ね。自然や歴史ある地に移住しましたが、巨大風車群(超)低周波公害)とメガソーラー銀座化しつつあり(中華系含)、近隣市町の居住環境も危ぶまれており、すでに実害で引越した方もいます(当別は町挙げて反対!!)。

地域柄俳句にも親しんでいます。

カモメ舞う 北浜のまちに 風車群 雪どけの 氷に遊ぶ カモメ達

カモメ等は 波に動じず 餌を食む 鵲灯(↑俳号です)

PS「モリモリ博士のソーラ

ン節で認知症予防」興味深いです!!

○三宅 勲(一九六九年卒) 北海道北広島市

趣味の囲碁、俳句、ゴルフなどで余生を過ごしています。そしてチョッピリ九条の会の世話人なども。

○愛甲 知佐子(一九九二年卒) 札幌市中央区

コロナで北大構内にも足を向けられなくて残念な一年でした。現学生さんは勿論、同窓会諸先輩も、お元気でいて頂きたいと思っております。

○神山 周二(一九五六年卒) 札幌市北区

本当にごくろう様、たいへんでしょう。

最近になって老化のコワサを知りました。体力の限界も知り独力の力では動けません。皆様に宜しくお伝え下さい。

○石川 信行(一九九一年卒) 札幌市北区

ご縁がありまして、一年より北海道大学の非常勤監事に就任しました。週1日程度キャンパスに出動しています。



教育学部から北側を望む

○渡会 雅明(一九八九年卒) 北海道函館市

函館の高校で部活動指導の傍ら、自分もランニングを続け、札幌帰省の際には毎回懐かしの北大キャンパスを走っています。当時とは構内の道路や施設が変わりましたが、オリンピッククマラスンの舞台ともなった美しい景色は、いつも暖かく迎えてくれます。

○檜澤 仁宏(一九九七年卒) 札幌市東区

転居連絡

○忍 博次(一九五四年卒) 青森県弘前市

○北海道江別市 現在 サービス付き高齢者住宅に入居しています(総会に)不参加 御許し下さい

○湯浅 雅之(一九九五年卒) 札幌市厚別区

同窓会だより、楽しみに拝読しております。ついに五十代の仲間入りをします。

○渡辺 有賢(一九七八年卒) 群馬県太田市

小柄、住職になって36年、何とか生きています。昨年、息子が副住職に就任しました。

○竹下 忠彦(一九八二年卒) 東京都町田市

正規教員退職後、5年目に入りました。週二回ほど時間講師をしています。

その他、大学で後期一単位だけ特別支援教育概論を教えています。これは4年目に入りました。コロナ前には年に二回ほど札幌を訪問していたのですが、もうしばらく行けそうにありません。

○秋元 義禮(一九七三年卒) 青森県弘前市

2020年に発生した新型コロナウイルス感染症で、高校の同期を失い死が生活の真近にあることを痛感しました。今年は行動制限がなくなり、残った健康年令を思いながら遠出を再開。離れて暮らす子・孫と会ったり、一人旅をしています。

○清水 純奈(二〇二三年卒) 札幌市豊平区

四月から社会人となるので、沢山のことを吸収し、成長していきます。教員として、子どもの目線に立つことを大切に、子どもと関わります。

*前号で一部の方の姓名に誤りがありました。関係者の方々に詫言申し上げます。

北大金葉祭



北大金葉祭

同窓生の投稿から

32年ぶりの「移動スポーツ科学館」



東野 裕

平成4年卒業 身体発達

「久しぶりに須田先生とみんなで集まりたいですね」。去年の秋、大阪府茨木市の北海道居酒屋「ほっかバル」で店主の宮田博己さんとそんな話になりました。宮田さんは北大陸上競技部の先輩ですが、身体発達ゼミでは「同期」です(笑)。コロナ禍の3年間、旧交を温める機会が全くなかったもので、話は一気に盛り上がり、7月1日、札幌市内で恩師の「須田力先生を囲む会」を開催することになりました。当日は、須田先生、井之上博文さん、平田佳子さん、中島英治さ

ん、鈴木健一さん、松山憲仁さんにご参加いただき、8人でジンギスカンと焼き肉、お酒を味わいながら楽しいひと時を過ごしました。

事前に須田先生から、「コロナで3年間中止になっていた『移動スポーツ科学館』を士別市で開催するので、一緒にどうですか?」とお誘いをいただきましたので、宴の翌朝、先生と先生の奥様と一緒にJRで士別へ向かいました。『移動スポーツ科学館』とは、参加者が体を動かしながら、体の動きや仕組みなどを楽しく学べるイベントです。学生時代以来32年ぶりの「移動スポーツ科学館」は、劇的な進化を遂げていました。先生は100円ショップやホームセンターなどで材料を買い、圧電素子やLEDを組み合わせた「オリジナル教材」をすべて「手作り」で準備されていました。「手動発電機を使った『発電恐竜』」や「横隔膜(ゴムの膜)を下に引っ張ると肺(風船)が膨らむ模型」などビジュ

アルもとても面白いものばかりです。たぐさんのユニークな「教材」を目の当たりにして、昔と全く変わらな先生的熱意とパワーに圧倒されました。当日、会場にやってくるのは、こどもから90歳のおじいちゃんまで、まさに老若男女。私は、学生時代の記憶をたどって、皆さん1人1人に「体験」してもらいながら説明しました。小学生にとってはかなり難しい内容ですが、こどもたちは目をキラキラさせながら、私の拙い説明を興味津々で聞いて楽しんでいました。北の大地でのひととき、ふだん経験できない大変貴重な時間を過ごすことができました。須田先生は私の学生時代からずっと「大学で学ん



教養部の向側にある身体発達の研究棟

だことは自分たちだけのものにするのではなく、世間一般の人々に広く共有することが大事。常に人々のお役に立つことを考えないといけない」とおっしゃっています。80歳になられた今もなお、「移動スポーツ科学館」の活動を通じて、それを実践しておられる先生の姿に改めて感銘を受け、今後の人生の指針をいただきました。私が学生時代の北大教育学部のスローガンは「Welcome humans」。札幌での宴を企画した時、須田先生は、会の名前を「Welcome humansの会」にしてほしい、とおっしゃっていました。これからもその言葉を胸に生きていきたいと思っています。

文連会館 回想

佐々木孝一

(一九七四年卒)

私が入学した一九七〇年代の初め、文科系のサークルの拠点が学内に三か所あった。

正門の脇に「黒百合会」や「新聞会」など伝統のあるサークルが入った建物。大学本部と向き合うように立っていたこは、「解放会館」の看板がかかっていた。北十二条の電車通りに面した旧教育学部の建物には、「北大交響楽団」や「アウロラ」(マンドリン合奏団)など音楽系のサークルが集まっていた。そして中條精一郎設計の札幌農学校の校舎を移築した文連会館である。

「文連」は「文化団体連合」の略であるが、その事務局がここにあった。「体育会」と対峙する形で、主な文科系サークルから役員が出ていた。また年に一回は学生部と予算などの交渉をする機会があつて、有江幹男学長(当時)が出席したこともあった。「男声合唱団」など音楽系の一部サークルが残り、今も存続している「民研わだち」は百人を超える大所帯で北東側の稽古場で迫力ある演舞を繰り広げていた。

そんな文連会館に初めて足を踏み入れたのは、五月の連休明けであった。教養部で同級の小沢義男君に誘

われたのである。花巻出身の小沢君とは東北出身ということと宮沢賢治の話などで妙に気が合っていた。彼は「演劇研究会」(演研)に入っていた。「近々アトリエ公演があるので見にこないか」と誘われたのである。

演研は文連会館の南西側を拠点にしていた。稽古場をきれいにしておきに観客を入れるのをアトリエ公演と称していた。多分、北大祭のためのものと思われるが、唐十郎や佐藤信など前衛的な作品が取り上げられていた。山台に据えられたモニュメントのあたりで若

(次頁へ)



昭和香が残る掲示板 文連会館はこの陰にあった

(✓)い男女が叫び訴え舞うものであった。そそれれが感覚的についていくことができなかった。小沢君はその後、『戦争と人間』(山本薩男監督・日活)の北海道ロケでエキストラとして参加した。

演研の近くに「囲碁部」の部室があった。「将棋部」と同居であったように記憶している。たまたま歯学部進学課程にいた滋賀県長浜市出身の新井忠君と連絡船の中で知り合い囲碁談義をしたのがきっかけである。

青森と函館を繋ぐ青函連絡船は四時間に満たない船旅だが、お互いの素性を知るには十分の時間があつた。

「坂田栄男だ、呉清源だ」と話し込んでいるうちに、一度部室をのぞいて見ることになった。新井君は囲碁部員だったのかもしれない。

部室で手合わせした新井君はとても強かった。当時の三段か四段の実力があつた。そうこうしているところに、部室にいた樋口晶文さんに七子で一局打ってもらった。ほとんど碁にならなかった。その後二三回は部室に行っただろうか。大学紛争の余燼がくすぶり、

とても落ち着いて碁盤に集中する気になれなかった。自然と足が遠ざかった。

同窓の佐藤順吉さんがそのころ部室にいたことは後で知った。樋口さんは市役所職員の囲碁大会で、後年何回か顔を見かけた。もっともアマチュアの全道チャンピオンに名前を連ねる強豪の一人になっていただけに、遠くから仰ぎ見る存在であつた。

文連会館内をウロウロしている私に声を掛けたのが「童話研究会」(童研)の会員であつた。誘われて事務局と「探検部」の間の部室に入ると、「平和的民主的民族の児童文化の創造と普及」という墨書のスローガンが掛かつていた。三年目の池田公三さんはこれが活動の基本方針だという。こんな誘いで入会する気になる学生がいるのかな、と感じるほど堅苦しかった。それでも農学部前のエルムの木にロープを渡し、人形劇の練習に励む会員の姿が輝いてみえた。「入ってみようかな」という気になった。

「運の尽き」である。

「解放会館」は在学中に、文連会館も卒業後七年ほど

経って失火で焼失した。旧教育学部の建物も取り壊されて今はない。いずれも文化財級の建築物で、近代化されたキャンパス内に残された札幌農学校以来の遺構であつた。とくに文連会館は床や壁や扉などあちこちに、ここに集った学生や教官の汗と涙と笑い声がしみ込んでいた。その中に自身自身の精神の塊をぶつけていた。

クラーク会館から掲示板横の歩道を歩くたびに、惜別の情がこみ上げてくる。

(手元にあつた北大童研の関連資料は大学文書館に寄贈した。閲覧が可能である。)

近況報告



井之上博文

平成4年卒業 身体発達

1992年卒の身体発達ゼミの井之上博文です。かなり前に近況報告を載せていただいて以来の投稿です。卒業後もずっと札幌にいたのですが、現在は福岡市に移住してあいかわらず予備



大学文書館

投稿募集

同窓会報に会員の原稿を募集します。テーマは、「在学中の思い出」「母校と現在の絆」「思うこと／考えたこと」などです。四〇〇字詰原稿用紙五枚程度にまとめてください。それ以下でもかまいません。次号以降への掲載を企図しますが、紙幅の関係で繰り延べとなる場合があります。ご了承ください。担当までご相談ください。メール可。

校講師として広島、北九州、福岡で化学・地学を教えます。個人事業主なのであのんびり自分のペースでと考えていたのですが、逆に札幌時代よりコマ数が増えました。思えば中学のころ、放課後に勉強のできないともだちを集めて黒板の前に立って数学や英語を教えて以来、大学のころも塾講師、今でもずっと黒板の前に立ち続けて、結局、自分ばかりはこれしかなかったんだと、還暦を目前に思うばかりです(笑)。

生徒たちはなんといますか、その時代時代の傾向とか全体の雰囲気とかはありますが、いつの時代もかわいてしょうがないですね。自分の仕事を成立させるために授業をするのではなく、生徒たちが絶対に成績を上げるために授業をするのではなく、こういう現象があるとかこういう原理なんだとかいうひとつが面白くてすごいよねって感じで、楽しんでやっています。

いつも胸にあるのは、中川先生、須田先生、さらに当時の教育学部の先生方や学生たちに影響を受けた We Like Humans! の精神です。

先日、数年ぶりに札幌を訪ね、須田先生はじめ、あのころゼミ室に出入りしていた面々と再会しました。

須田先生が一人一人にボックスを手渡され、中には文書に混ざって圧電素子を用いた運動量を目で見える形にする手製のボードをいただきました。衰えを知らない恩師には脱帽の限りです。すごすぎますよ先生(笑)。

「自著を語る」

共働き家庭の家事育児分担の実証的研究

孫詩 彥

(北海道大学創成研究機構 大学院教育学研究院 特任助教)

育児期における共働き家庭の役割分担はなぜ偏りますか。本書は、権力という観点を切り口に、子どもの誕生と成長を夫と妻が共に経験していくなかで、共働きカップルの家事育児分担・調整に何が起るかを実証的に解明してみました。この研究では、保育施設経由で依頼し、共働きで未就学の第1子を育てる夫と妻、合計20カップル・40名に個別インタビューを行いました。調査は東アジアの

都市部で暮らす核家族に絞ることで、カップル間の比較や類型化を可能にしました。分析の結果、第1子誕生後に、妻と夫の間の役割分担に関する明確な交渉と調整があまり行われなくなりました。この「役割分担の硬直化」が、役割分担が妻に偏る結果をもたらしたと分かりました。カップルは一番「無難な選択」をし続けてきたところ、家庭役割が妻に偏る局面にたどり着き、夫妻が役

割分担を調整する余地が狭められます。夫と妻は一緒に暮らし、同じ事象を見ていても、権力作用において異なる経験・資源・スキルを得てきた結果、夫婦間で認識のズレが生じます。この本のおもしろさは、夫と妻を対等な行為者として捉え、両方からみた役割分担・調整を対比させ、家庭生活のリアリティをより全面的に描き出してみたいところです。権力の観点から分かりにくそうな分析もありますが、本はこれらを飛ばしても読み進められるように書いています。本書は2020年に北海道大学に提出した博士学位論文ですが、広く読んでもらい、議論を深める契機になることを願ってやみません。

「自著を語る」のコーナーは、学部・学院で指導に当たっている方々に自身の研究成果を語ってもらうコーナーです。積極的な活用を期待します。

会則の改正

九月二四日の総会で議決された改正後の会則は次のとおりです。

第3条 本会は、事務局

を幹事長の指定する住所に置く。

第6条

(3) 臨時総会は、会長が必要と認めたとき、または会員の60分の1以上の要望があつたとき招集する。

第9条

(3) 幹事会の議事は出席した構成員の過半数をもつて決する。(一部削除、字句修正)

(4) 前項の規定にかかわらず、緊急又は軽易な事項については、書面または口頭により賛否を求め、返信または回答した構成員の過半数をもって決することが出来る。

第16条 本会則に規定するもののほか、本会に必要な事項は会長が幹事会に諮って決定する。ただし緊急を要する場合は専決を行い、後日、幹事会又は総会において了承を得るものとする。

付則 本会則は、平成18年10月19日から施行する。(一部削除)

付則 本会則は、令和4年9月24日から施行する。(追加) 太字部分が改正された部分です。

討 報

謹んで哀悼の意を表します

事務局で把握した方々について掲載します
() 内は卒業年、敬称は省略します

- ・馬場 章嘉 (一九六九年卒) 二〇二二年逝去
- ・小畑 和 (一九六六年卒) 二〇二二年四月逝去
- ・藤巻 哲夫 (一九五三年卒) 二〇二二年五月逝去
- ・江口 宝松 (一九六七年卒) 二〇二二年十二月逝去
- ・佐々木 (持本) 幸子 (一九六六年卒) 二〇二〇年十二月逝去
- ・佐藤 安弘 (一九六〇年卒) 二〇一九年十二月逝去
- ・中村 襄 (一九五六年卒)
- ・加藤 重明 (一九五四年卒)
- ・三河 理恵子 (一九九七年卒) 二〇一九年九月逝去
- ・長尾 肇 (一九六五年卒) 二〇二二年逝去
- ・青柳 忠 (一九七四年卒) 二〇二三年一月逝去
- ・加藤 多一 (一九五八年卒) 二〇二三年三月逝去

厚く御礼申し上げます

竹田会長の報告にもありますが、この間、次に記載の方々から同窓会支援金や教育貢献賞寄付金が寄せられました。衷心よりお礼申し上げます。

諸物価が高騰し経費がかさんできております。引き続きのご支援、どうぞよろしくお願いいたします。

受付順で掲載しました。カッコ内は卒業・修了年次です。名簿等で調査しましたが不明の場合があります。また誤記や記載漏れの場合は同封のはがきにてご連絡ください。

敬称は省略しました。

・二〇二一年九月	上野 八郎 (一九六六年)
須田 力 (一九六六年)	坂本 仁彦 (一九七〇年)
小松 典子 (一九八二年)	遠藤 知恵子 (一九八二年)
布上 恭子 (二〇〇三年)	竹内 眞 (一九六九年)
鈴木 里律子 (一九七八年)	笹原 晶博 (一九七九年)
高橋 英一 (二〇〇一年)	藤田 泰博 (一九七四年)
国吉 昌晴 (一九六六年)	亀井 俊介 (一九七四年)
竹森 俊之 (一九七九年)	田村 卓哉 (一九八〇年)
藤本 茂夫 (一九七三年)	湯浅 雅之 (一九九六年)
多田 亜紀子 (一九九四年)	大山 隆子 (二〇〇九年)
渡部 秀清 (一九七二年)	橋内 哲也 (一九五五年)
生野 将人 (一九八八年)	橋爪 幸正 (一九六一年)
生野 寿恵 (一九九〇年)	佐藤 順吉 (一九七五年)
皆川 義隆 (一九七七年)	竹岡 由比 (一九八一年)
柳谷 憲治 (一九九七年)	大場 里美 (一九九八年)
佐々木 秀之	佐藤 文
福田 三行 (一九六九年)	後路 好章
関原 沖 (一九五七年)	工藤 典子 (一九八八年)
大居 健二 (一九五七年)	奥見 花 (一九九八年)
田尾 直之 (一九六一年)	大西 由美子 (一九七〇年)
所 伸一 (一九七一年)	

渡辺 有賢 (一九七八年)	原 直美 (一九九三年)
小島 忍 (一九五六年)	鷺見 功 (一九七〇年)
佐々木 成行 (一九六八年)	若原 里美 (二〇〇二年)
田辺 速夫 (一九七一年)	木村 智子 (一九九九年)
小野 義拓 (一九五九年)	久米谷 弘光 (一九八一年)
小池 清仁 (一九八三年)	長尾 肇 (一九六五年)
小野塚 恒男 (一九七八年)	三村 道丸 (一九七八年)
多米 豊 (一九五四年)	後藤 隆之 (一九七五年)
室橋 春光	
阿部 剛康 (一九九一年)	竹田 正直 (一九五七年)
真嶋 七葉 (一九八〇年)	吉川 和幸 (二〇二一年)
中澤 壮王	ナガノ トモ
江口 宝松 (一九六七年)	佐々木 孝一 (一九七四年)
安達 輝政 (一九七九年)	林 孝幸 (一九九一年)
小野 基司 (一九八〇年)	渡会 雅明 (一九八九年)
徳勢 正昭 (一九六五年)	月舘 修 (一九七〇年)
石田 将吾 (一九九九年)	松居 美樹子 (一九九八年)
早川 睦子 (会員縁故者)	古口 真澄 (二〇〇〇年)
三木 拓良 (一九八五年)	菅 洋一 (二〇〇六年)
逸見 勝亮 (一九六六年)	
熊谷 卓 (一九七四年)	田中 恭子 (一九八二年)
廣山 葉月 (二〇一八年)	齋藤 彰 (一九八〇年)
片田 宗隆 (一九九六年)	千葉 一興 (一九九六年)
井上 弘子 (二〇〇〇年)	
後藤 弘 (一九六一年)	・二〇二一年十月
忍 博次 (一九五四年)	加我 稔 (一九七一年)
笠井 淳一 (一九六二年)	阿久津 健一 (一九七四年)
川守田 京子 (一九六一年)	高野名 雄介 (二〇〇四年)
齋藤 真姫子 (一九八六年)	堺 勝信 (一九九八年)
秋元 義禮 (一九七三年)	伊藤 修司 (一九七七年)
加納 侑一 (一九七〇年)	鈴木 尚 (一九五六年)
根深 忠大 (二〇〇八年)	斎藤 張樹 (一九六九年)
	湯浅 香織 (一九九七年)
	奥田 尚 (一九九六年)
	小泉 安治 (一九六三年)

年会費納入のお願い

会員の皆さまには日頃から同窓会活動に深いご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて北海道大学教育学部同窓会の運営は、その財政基盤のほとんどを会員の皆さまの年会費に依存しております。円滑な同窓会活動を推進するため、年会費の納入にご協力くださいますようお願いいたします。同封の払込取扱票で郵便局の窓口またはATMで納入ください。

なお次の銀行口座へ振り込みが可能です。この場合、振り込みに関する手数料等は払込者負担になりますので、ご了承ください。

・北海道銀行 南一条支店

普通貯金 一〇七三九九七

北大教育学部同窓会

事務局代表 佐々木孝一

・ゆうちょ銀行 二七九(二ナナキユウ)店

当座 〇〇〇四三二九

北大教育学部同窓会 代表 佐々木孝一

お願いとご注意

ゆうちょ銀行(郵便局)の会費等納入で「同窓会報」同封の払込用紙使用の場合、従来は払込者の料金負担はありませんでした。ところが、二〇二二年一月一七日から一部有料となりました。

ATMから通帳またはカードを使用の場合 ↓ 無料

ATMから現金払い ↓ 有料

窓口で現金払い ↓ 有料



北 21 条付近のキャンパス

会務報告 (2022年度)

2022年6月8日

北海道大学校友会エルム総会

対面およびwebで実施

竹田会長 (web) 佐々木 (対面) が参加

2022年8月31日

「同窓会だより第40号」の発行配布

会費納入および総会出欠 (近況報告) 用ハガキ同封

「エルムの森プロジェクト」パンフレット封入

2022年9月24日

北海道大学教育学部同窓会総会

文系共同講義棟 (軍艦講堂) で開催

会員16名参加

来賓として横井敏郎学院長・学部長、柚木孝敬教授 (地域連携委員長) が臨席

同時開催: 全学行事「北海道大学ホームカミングデー 2022」

同時開催: 文系四学部合同企画講演会「北海道開拓と集治監」

2023年1月18日

北海道大学校友会エルム理事会

対面およびwebで実施

竹田会長 (web) 参加

2023年3月23日

2022年 (令和4年) 教育学部・教育学院学位記授与式

竹田会長の祝辞を印刷物で配布

「同窓会だより第40号」と同窓会入会案内を配布

竹田会長、佐々木幹事長代行、和田幹事が臨席

2023年3月23日

教育貢献賞の授与

近藤雄大さんへ竹田会長から授与

2023年3月23日

学年幹事の委嘱

菅原潤さんと清水純奈さんに委嘱

2022年10月15日

2023年2月15日

事務担当幹事打合せ

佐々木幹事長代行、高山副幹事長、及川会計幹事、和田幹事

平賀 邦行 (一九六四年)	丹下 雄二 (一九八五年)	黛 幸治 (二〇〇六年)	芳賀 純一 (一九六二年)
宮崎 隆志 (一九八二年)	阿部 千絵 (二〇〇二年)	永田 知子 (一九九五年)	大居 健二 (一九五七年)
田中 律子 (二〇一〇年)	大野 雅弘 (一九五九年)	渡邊 勝彦 (一九六五年)	亀貝 一義 (一九六〇年)
長谷川 功 (一九九六年)	鈴木 泰 (一九七一年)	藤田 篤 (一九八九年)	佐藤 修二 (一九七九年)
長谷川 千鶴 (一九九六年)	寺本 一平		伏木田 政義 (一九六九年)
岡田 明美 (一九七一年)			石川 信行 (一九九一年)
犬童 いづみ (一九八〇年)	千葉 悦子 (一九七六年)	白取 道博 (一九八二年)	驚見 功 (一九七〇年)
高橋 正和 (一九八一年)	内山 多賀子 (一九五八年)	竹田 正直 (一九五七年)	堺 勝信 (一九九八年)
	飛田 美由紀 (一九九七年)	小泉 安治 (一九六三年)	山本 哲二 (一九七四年)
	重岡 千里 (一九八九年)	高山 幸一 (一九七四年)	須田 力 (一九六六年)
		笹原 晶博 (一九七九年)	小松 典子 (一九八二年)
		生野 将人 (一九八八年)	田村 卓哉 (一九八〇年)
		生野 寿恵 (一九九〇年)	
・二〇二二年十一月			
井上 蓉子 (一九六二年)			
笹瀬 雅史 (一九八六年)			

井上 蓉子 (一九六二年)	橋内 哲也 (一九五五年)	中島 寿宏 (二〇二二年)	小野 義拓 (一九五九年)	勝又 貞幸 (一九七三年)	小野塚 恒男 (一九七八年)	佐藤 順吉 (一九七五年)	徳勢 正昭 (一九六五年)	奥見 花 (一九九八年)	高橋 正和 (一九八一年)	鈴木 里律子 (一九七八年)	高橋 英一 (二〇〇一年)	犬童 いづみ (一九八〇年)	前田 泰博 (一九六二年)	松浦 直樹 (一九九七年)	高橋 道裕 (一九八四年)	坂本 ひろみ (一九九一年)	廣山 葉月 (二〇一八年)	吉川 和幸 (二〇二一年)	木村 智子 (一九九九年)	長尾 肇 (一九六五年)	小島 忍 (一九五六年)	坂本 仁彦 (一九七〇年)	阿部 剛康 (一九九一年)	三木 拓良 (一九八五年)	後藤 弘 (一九六一年)	井沼 淳一郎 (一九八二年)	濱田 一康 (一九七七年)	和田 昇 (一九八三年)	渡邊 成江 (一九九五年)	川守田 京子 (一九六一年)
---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	----------------	---------------	---------------	--------------	---------------	----------------	---------------	----------------	---------------	---------------	---------------	----------------	---------------	---------------	---------------	--------------	--------------	---------------	---------------	---------------	--------------	----------------	---------------	--------------	---------------	----------------

井上 弘子 (二〇〇〇年)	秋元 義禮 (一九七三年)	山下 景子 (一九五六年)	奥寺 雅道 (一九七七年)	菊池 卓哉 (一九七五年)	加我 稔 (一九七一年)	榊谷 憲治 (一九九七年)	佐藤 文 (一九八一年)	・二〇二二年十月	吉田 敏博 (一九七二年)	古口 真澄 (二〇〇〇年)	林 孝幸 (一九九一年)	安達 輝政 (一九七九年)	湯浅 雅之 (一九九五年)	渡辺 有賢 (一九七八年)	佐々木 孝一 (一九七四年)	・二〇二二年十一月	二〇二三年三月	内山 多賀子 (一九五八年)	室橋 春光	高村 泰雄	原 直美 (一九九三年)	伊藤 勇 (一九六五年)	生出 典子
---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	--------------	---------------	--------------	----------	---------------	---------------	--------------	---------------	---------------	---------------	----------------	-----------	---------	----------------	-------	-------	--------------	--------------	-------



学内を循環するバス

2022年度決算書				
一般会計				
収入	予算額（円）	決算額（円）	差	説明
繰越金	820,009	820,009	0	
会費	480,000	422,000	△ 58,000	210 名
過年度分会費	10,000	18,000	8,000	6 名
同窓会支援金	200,000	280,000	80,000	55 名（内特別会員 1 名）
会費外収入	0	74,800	74,800	エルム会支援 45,000 円、会報広告料ほか 29,800 円
払い込み手数料	3,990	7,300	3,310	特別会計負担分
雑収入	1	1	0	預金利息等
合計①	1,514,000	1,622,110	108,110	
支出	予算額（円）	決算額（円）	差	説明
借入金返済	390	390	0	特別会計返済／過誤調整
会報等発行経費	450,000	410,053	39,947	会報 2 千部・発行手数料ほか
振込手数料／通知料	21,600	29,946	△ 8,346	会費納入時発生
料金後納払い	6,000	9,014	△ 3,014	近況連絡等のはがき
通信連絡費	12,000	30,498	△ 18,498	郵送料
卒業式協力費	5,000	5,000	0	卓花
会費	0	6,000	△ 6,000	関西エルム会 2 年分
事務局活動費	20,000	18,960	1,040	
消耗品費	8,000	6,531	1,469	
印刷費	2,010	744	1,266	コピー等
予備費	45,000	944	44,056	弔電 1 件
合計②	570,000	518,080	51,920	
①－②	944,000	1,104,030	160,030	次年度繰越金
特別会計				
収入	予算額（円）	決算額（円）	差	説明
繰越金	301,658	301,658	0	過誤調整分を含む
基金収入	120,000	108,000	△ 12,000	43 名－54 口
合計③	421,658	409,658	△ 12,000	
支出	予算額（円）	決算額（円）	差	説明
教育貢献賞賞状	36,000	17,600	18,400	1 名／表彰状
教育貢献賞副賞	40,000	20,000	20,000	図書券 2 万円＊1 名
払い込み手数料	4,000	7,300	△ 3,300	会費納入時発生／一般会計と按分
事務局活動費	10,000	4,000	6,000	学位記授与式費用弁償負担分
合計④	90,000	48,900	41,100	
③－④	331,658	360,758	29,100	次年度繰越金

△編集後記▽

「同窓会だより」第41号をお届けいたします。

新型コロナウイルス禍の長い間の規制も、五類感染症へ指定移行され、ここ札幌にも観光客が戻り同窓会総会や学位授与式なども対面で行えるようになりました。

ある医療関係者が、「このウィルスの真の恐ろしさは、コミュニケーション・絆の分断にある」とおっしゃっていました。この間、活動を自粛する生活を続ける一方、感染を避けながら絆を深める手段として、オンラインのミーティングも定着してきました。

私達人類は、環境の変化に対応できる力を有しています。皆さんの持っている無限の可能性、智慧を活かすことができれば、どんな難局にも打ち勝っていくことができると思います。

本年度より同窓会幹事の一員に加わり、本号の編集にも関わらせていただきました。

本号の発行にあたり、横井学部長様、竹田会長様はじめ、会員寄稿をいただいた東野裕様、佐々木孝一様、

井之上博文様、そして、新企画の「著書を語る」に投稿いただきました孫詩彥様には、ご協力いただきましたこと、大変ありがたく、厚くお礼申し上げます。

この同窓会だよりも、今回の新企画のように、内容も時代に合わせて刷新していく必要があると考えておりますので、皆様のご意見やご寄稿をお待ちいたしております。

久しぶりに母校に訪れ、あの校舎の空気に触れると、青春の日々を懐かしく思い出します。

今後の同窓会活動も、多くの皆様がご参加いただき、現役の皆様の様子もお伝えすることが出来るよう、大学社会連携委員会の窓口の柚木孝敬先生とも協議を進めながら、着手してまいります。

また、宮崎隆志元教育学部長も同窓会役員としてご参加いただいておりますので、今後の新たな取り組みにあたり心強い限りです。

会員の皆様には、ご自愛いただくとともに、今後とも、母校への心温まるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（の）

北海道大学校友会エルム

北海道大学関係者の皆様のご登録をお待ちしております

※平成28年6月1日以前に基礎同窓会に加入されている方は会費不要です。



北海道大学関係者みなさんが
ご入会いただけます。

会員登録は以下URLからフォームにアクセス



<https://www.alumni-hokudai.jp/>

会員登録

をクリック！



会員登録が簡単になりました！

「お名前」「メールアドレス」「電話番号」
「入学 or 卒業 or 所属情報」のみでOK

郵送でのお申し込みをご希望の方は事務局までご連絡ください

北大との絆をつなぐ一枚



三井住友カード株式会社 北海道大学カード

三井住友専用ページから申込み

三井住友カードサイト

カードをつくる

カード一覧

北海道大学カード



<https://www.smbc-card.com/nyukai/affiliate/hokudai/index.jsp>

本学卒業生、教職員の方限定

北海道大学カード

北海道大学カードが北大生を支援する仕組み
北海道大学カードへの入会による取次手数料及びカード利用額に
じた提携手数料がカード発行元の北海道大学校友会エルムに還元さ
れ、これを「北大生支援資金」として北海道大学に寄附し、「奨学金」、
「留学支援金」、「課外活動への費用援助」等に役立ててもらふこと
としています。



北海道大学校友会エルム
HOKKAIDO UNIVERSITY
ALUMNI ASSOCIATION ELM



北海道大学校友会エルム事務局

〒060-0809 札幌市北区北9条6丁目 国立大学法人 北海道大学 百年記念会館内
TEL:011-706-2101 FAX:011-706-2010
E: https://www.alumni-hokudai.jp K: kouyukai@general.hokudai.ac.jp